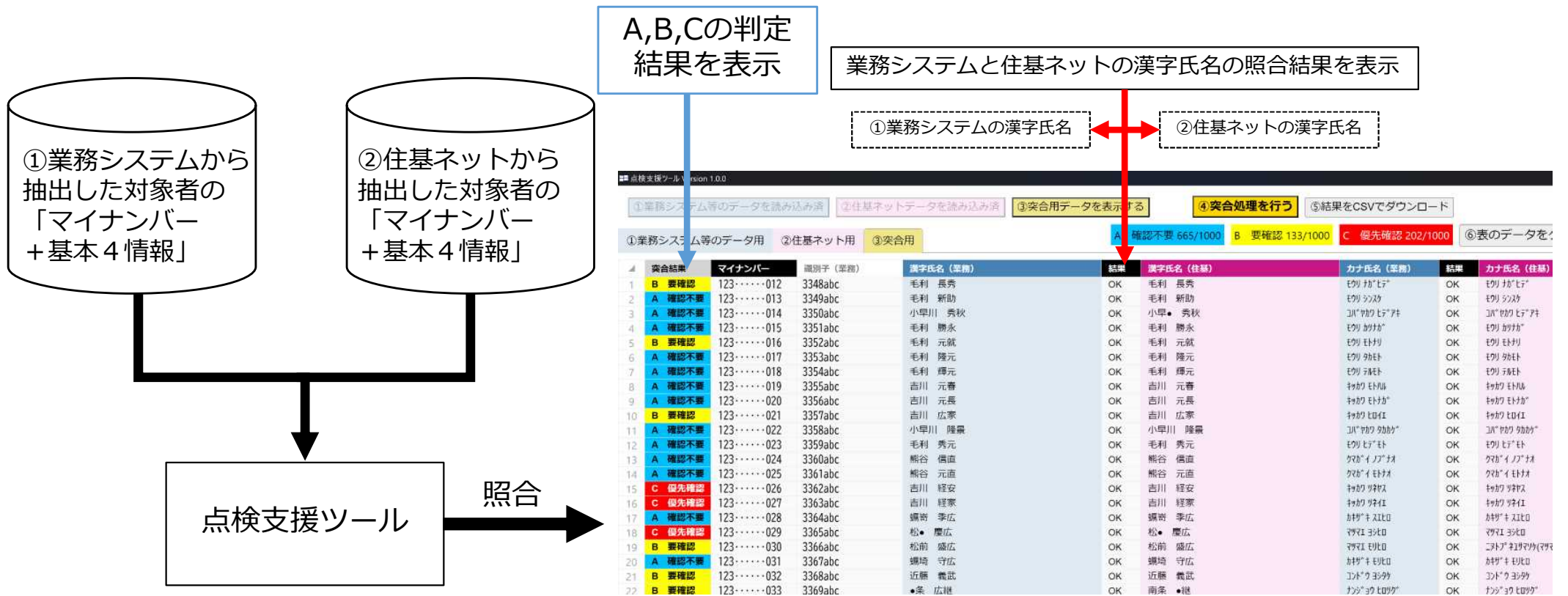


- 個別データの点検に必要な作業のうち2段階目の照合の作業省力化のため、一部自治体の協力を得て、デジタル庁において点検支援ツールを開発。点検対象機関である自治体に対して、本ツールを提供（9月29日）。
- 本ツールを活用することで、点検対象となる業務の対象者データについて、業務システム等の抽出データと住基ネットの抽出データをツール上で照合し、その結果として、「**A 確認不要（完全一致）**」、「**B 要確認（入力ミス等による不一致の可能性のあるもの）**」、「**C 優先確認（別人への紐付けの可能性が高いもの）**」をデータごとに表示。



(実際の点検支援ツールの画面。上記データはサンプル。)

※点検支援ツールでは突合するデータ間の相違について、例えば、氏名のデータでは半角・全角スペースなどの違い、住所のデータでは丁目、番地、地割、号の表記の違いなどをデータ処理によって整え、正確な照合が可能な状態にしている。